

教育福祉常任委員会に所属 質問と提言をしました！

各議員は常任委員会（総務企画常任委員会・環境都市常任委員会・教育福祉常任委員会）のどれかに必ず所属します。水野ゆうきは教育福祉常任委員会に所属しました。保育園、小中学校や高齢者、障がい者において我孫子が抱える課題を市民と一緒に提言・解決します。

① 幼児の予防接種ポリオ投与について

（生ワクチンと不活化ワクチン）

神奈川県は生ポリオワクチン接種について、ごくまれにワクチンの副作用として、ポリオ（小児まひ）が起こることから保護者の不安に応え、一人でも多くの方にポリオワクチンを接種するよう地方自治体として初めて独自に不活化ポリオワクチンの接種をはじめました。生ワクチンを使用しているのは先進国で日本だけです。マスコミ報道されている生ワクチンと不活化ワクチンについて市の見解を聞くとともに現状（接種控え・不活化ワクチンを接種できる医療機関の有無や移行期混乱対策）等を質問しました。

また昭和 50～52 年生まれの抗体が低下していることも市で情報発信・対応していないことを指摘し、情報の徹底を要望しました。

我孫子市では生ポリオワクチンの接種が昨年1632人、今年958人と約4割減で接種控えが起きています。未接種は危険です。報道により不活化を希望している方が多く、保護者の立場からしては可能性の問題ではなく安全の問題です。市として情報提供が少なすぎるので、充実した内容を周知させるべきと発言しました。

水野ゆうき プロフィール

民間・報道・政治の経験！

1983年2月19日生まれ（28歳）

我孫子市根戸生まれ、白山育ち・在住。

我孫子私立第四小学校入学後、父の仕事の関係で米国ロスで中学1年まで過ごし、私立茗漢学園中学校・高校を経て、津田塾大学学芸学部国際関係学科を卒業。東証一部上場企業の役員秘書を約3年勤め、民放テレビ局の報道局にてニュース制作、政治家・学者・企業トップなどの報道番組出演交渉役を担当し報道畑で経験を積む。

現在は市議会議員として毎日情報発信するとともに、シンクタンクの研究生でもあり、

都内で開催する政治経済勉強会の事務局長を務める。

② 障がい者の増加について

市の人口は増えていないのに市内で精神障がい者が3倍に急増しています。我孫子市には精神科診療所が3箇所ありますが入院可能な病院がありません。また大震災で障がい者の方々にこういった課題が浮上したのかということと、今後の対策を質問しました。

③ 児童福祉法の一部改正について

法改正に伴い、児童デイサービスも障がい者自立支援法から児童福祉法に戻り、通所サービスの実施主体が都道府県から市町村へ変更。身近な地域で支援が受けられるように、またどの障害にも対応できるように障害児施設・事業体系が一元化されます。相談支援の充実と障害児支援体制の強化が一番のポイントとなるわけですが我孫子市の支援強化体制はどう展開していくのか質問しました。

④ 放射能の正しい知識、情報提供を保育士や教職員に徹底しているか

子供を預かる立場の方々は、特にホットスポットである我孫子市はきめ細かな知識と情報の習得が必要不可欠です。指導者にどのように徹底しているのかまた今後の取り組みを質問し、指導しているのであれば、その旨保護者の安心のためにもきちんとした方法で保護者に伝えて欲しいと発言しました。

高濃度の放射性物質を含む焼却灰の一時保管場所として千葉県が我孫子市と印西市をまたぐ県施設「手賀沼終末処理場」を提示。千葉県提案の手賀沼流域下水道終末処理場を4市1組合すべての放射性物質を含む焼却灰等の一時保管場所とすることについて、断固、受け入れ拒否を表明する決議案が全会一致で可決！

これは8月31日に松戸市、柏市、流山市、我孫子市、印西地区環境整備事業組合の4市1組合が千葉県に対し放射性物質を含む焼却灰等の一時保管場所等の確保について緊急要望を行い、その結果10月31日の千葉県の回答は手賀沼流域下水道終末処理場を候補地とするものでした。その後、千葉県と我孫子・印西市間において、再度候補地を見直すようやり取りが行われてきましたが、千葉県の提示案は現在も変わっていないことを受け、上記の決議案が提出され、全会一致で可決されました。本件について本会議最終日に緊急質問が行われ、決議案が提出されたことで、市民の多くにこの過程や経緯、現状の情報共有ができたかと思えます。これから市と市議と、そして市民と考える重要な課題です。